

金 賞

浄化センターを見学して

平 井 蒼 生

小郡市立三国小学校

ぼくは六月に宝満川浄化センターに社会科見学に行きました。はじめに、よくれた水がたまっている所を見ました。くさくて茶色にごった水がたまっていました。ぼくがごはんやおふろで使った時にごった水も、家の前の道路の下の下水道を通って遠いのに下水しよ理場にとどいていることがすごいと思いました。小郡市の他の人の家や学校のトイレのそうじやプールで使った水も全部、下水道を通って、下水しよ理場にとどいていることがすごいと思いました。浄化センターで一番びっくりしたことは、よくれた水をきれいにする時に、び生物を利用していることです。ちんでん池やろか池で水をきれいにしている他にも、び生物によこれを食べてもらったりして、何回もいろいろな所を通りながら、水がどんどんきれいになっていくことを知りました。

ぼくは、学校で下水道のしくみを勉強する前までは、自分が使ったよくれた水がどうなるのかを考えたことがありませんでした。だけど、浄化センターを見学してから、下水しよ理場がなかったらということを考えてみました。もしも、浄化センターがなかったら、川の水はよこれていて、それが海にいたりして魚もどろくさかったり死んでしまったりして、田んぼの水もきたなくてお米が育たなかったりして、食料がなくなったりするかもしれないですね。トイレで使った水をきれいにしなかったら、ばいきんが流されて、病気が広まるかもしれない

いので、下水しよ理場がないと、大変になることがわかりました。そして、下水しよ理場があるから、健康にくらせているし、自ぜんも守っていることがわかりました。

最後に、浄化センターで、水をしよ理しやすくするために、ぼくたちができることを教えてもらいました。それは、ふつうの紙をトイレに流さないということです。どうしてかというのと、トイレトペーパーは水にとけるようにできているけれど、ふつうの紙は水にとけないので上手くしよ理できないからです。もう一つは、油を流さないということです。それは、水をきれいにしてくれるび生物が息をできなくなるからです。

これからは、浄化センターを見学して教えてもらったことを守って、みんなが安心して健康にくらせるようにしていきたいと思います。